学校番号	４１４

令和８年度　芸術科

教科	芸術	科目	書道Ⅰ	単位数	２単位	年次	１年次
使用教科書	新編　書道Ⅰ（大修館書店）						
副教材等	なし						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

小中学校の書写書道とちがって、深く書道の歴史をさぐり、3000 年の伝統に根ざした書道芸術を学びます。一口に書道といっても様々な表現があり、漢字仮名交じり、漢字、仮名、篆刻、現代詩のすべてを学びます。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】

書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けるようにする。

【思考力、判断力、表現力等】

書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができるようにする。

【学びに向かう力、人間性等】

主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造していく態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	書の表現の方法や形式、多様性などについて幅広く理解するとともに、書写能力の向上を図り、書の伝統に基づき、効果的に表現するための基礎的な技能を身に付けている。	書のよさや美しさを感受し、意図に基づいて構想し表現を工夫したり、作品や書の伝統と文化の意味や価値を考え、書の美を味わい捉えたりすることができる。	主体的に書の幅広い活動に取り組み、生涯にわたり書を愛好する心情を育むとともに、感性を高め、書の伝統と文化に親しみ、書を通して心豊かな生活や社会を創造しようとしている。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動　［参考 R7］

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1学期	書体の変遷	中国唐時代の完成された、字形の美を臨書して味わう	a:歴史の深さを理解する b:基礎的な能力を生かして表現を工夫している c:技術を学ぶことによって表現の幅を広げる	作品提出	ﾚﾎﾟｰﾄ	観察
	書体の変遷	行書体の学習に入っていき、流れの美しさを味わう	a:行書体の基本的な用筆を理解し工夫して、その技術を身につける b:行書の特徴を理解して的確な表現をしていく c:行書のやわらかさを表現するために自ら工夫して研究していく	作品提出	ﾚﾎﾟｰﾄ	観察
2学期	篆刻	書道の作品へ押す印を自分で布字して刻していく	a:緻密な美しさを考え、それをよく理解する b:篆刻における分間布白を理解し表現を工夫している c:篆刻の面白さを体得し、一般書道にはない魅力を感じる	印影提出	ﾚﾎﾟｰﾄ	観察
	うちわ・カレンダー・絵手紙	自己表現として様々な素材を用いて自由な表現を試みる（漢字仮名交じり）	a:身近なものへの表現方法を考えてみる b:美を工夫して試してみる そして身近な美というものを実践を通して考えてみる c:調和する表現をすることによって実生活にそくした美を感じるようにする	作品提出	ﾚﾎﾟｰﾄ	観察
3学期	色紙をかく	色紙作品を書く	a:正統な書道を学ぶことで古典的な表現を再び学ぶ b:調和することを考えながら楽しく表現することを学ぶ c:作品づくりを楽しみ、最後に印を押して達成感をよろこぶ	作品提出	ﾚﾎﾟｰﾄ	観察
	仮名作品	日本の古典「仮名」を学習して１年のしめくくりとする	a:日本書道の歴史を知ると同時に女性がはたした書道史を理解する b:仮名の美しさを知ることによって日本人の美意識を理解し、表現していく c:連綿を美しく表現することで日常生活にも取り込んで楽しむ態度を身につける	作品提出	ﾚﾎﾟｰﾄ	観察

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度